

## 刊行にあたって

昨今、審美性や清掃性などの利点を求め、カスタムメイドのアライナー型矯正装置を希望する患者が増えてきています。各社からさまざまな製品が発売されていますが、その多様性ゆえ、使用方法や適応症例の判別に困っている先生も多くいることと思います。

デジタル技術を用いたアライナー矯正は、まだ新しい分野であり、矯正歯科を専門としている歯科医師であっても苦慮する場面に多く出会い、推奨されない症例もあります。

本増刊号は、矯正歯科を専門とされる先生方に、コンピュータ・シミュレーションで作製されるアライナー型矯正装置の基本的な治療の流れや不測の事態への対応法、また、ご自身が苦勞された症例を中心に紹介していただき、基礎から「正しく」学ぶための内容となっております。

アライナー矯正は、治療上さまざまな難しい点を含んでいること、そして、矯正診断やリカバリーには、豊富な経験と専門的な高いスキルが必要であるということを読みとっていただければ幸いです。

きれいに治った症例ばかりではなく、途中で苦慮したことを省みて、反省点やさまざまな情報を共有することも重要となります。協力し合い、大切なものとして育てていきましょう。

読者諸氏の深いご理解とご賢察を切望するとともに、スキルアップの一助となれば幸いです。

2019年3月  
編集委員一同